

ゆめはな だより

編集・発行
社会福祉法人
なごみ福祉会夢花事業部
〒2140035 川崎市
多摩区長沢
4-2-9-402

ゆめはなだよりは
地域のみなさんや関係
者の方に活動状況の公
開を目的として発行
しています

2021
新年特別号

賀年
謹新

伊豆大室山から富士山を望む
(職員撮影)

新年のご挨拶

夢花事業部部長

梶山 則行

新年おめでとうございます。

夢花事業部のご利用者と、関係者の皆さんに、旧年中の各事業所へのご理解とご協力を心より御礼申し上げます。新型コロナウイルス禍の中で、闘病をされている方々の一日も早いご回復を祈念すると共に、介護、看護、治療に従事している皆さんに対して、心から感謝を申し上げます。

黒岩県知事からのメッセージ

昨年12月末に、神奈川県知事から以下のメッセージが届きました。

『従業員に対しては、忘年会や新年会など、お酒を伴う懇親会は控えるよう、強く働きかけてください。全ての県民の皆さんは、M(適切なマスク着用)・A(アルコール消毒)・S(アクリル板等)の基本的な感染防止対策を、あらゆる場面で徹底してください。特に、「飛沫に徹底用心」を強く意識してください。感染しても無症状の場合に、意図しない他人への感染や、家庭内感染につながる恐れがあります。年末年始は、大人数が一か所に集まる忘年会や新年会は控え、感染防止を徹底してください。初詣は、三が日にこだわらない分散参拝、高齢者との接触につながるふるさとへの帰省は慎重に。』

医療従事者は、年末年始も休むことなく、新型コロナウイルス「いのち」を守るため、懸命に活動しています。』

事業部の状況

各事業所では、出来る限りの感染予防対策を継続していますが、家庭内で感染する割合が増加している状況の影響が、身近なところでも出てきています。

昨年12月中旬、家族の一人がPCR検査で陽性と判定された職員が、家庭内感染の可能性から自宅待機となり、職員が勤務していたグループホームの利用者は、職員の検査結果が判明するまで、自室で待機をお願いするなど、急な予定変更が必要でした。幸いにもすぐに陰性が証明され、事業所での感染拡大の心配は解消されましたが、職員は保健所の指示で14日間は仕事を休む事になりました。

生活の場の課題

事業部のグループホームには、帰宅が困難な方、予定の変更や環境の変化が苦手な方、健康問題等の理解が出来ない方が大勢利用をされており、そのような方が感染した時に誰が、どこで支援をするのか、具体的な課題です。高齢の人と基礎疾患がある人が新型コロナウイルスに感染した場合に、重症化しやすい可能性は利用者、支援者の双方にありますので、事業所で感染者やその疑いのある人が出た場合に、生活の場のグループホームは

家庭と同様の問題が生じます。

陽性と判定された無症状の利用者が、病院に入院をした後に、一日で出されてしまったとの情報もあり、公的機関や他の法人の取組を共有する為に、川崎市の障害計画課とグループホーム事業者が意見交換をする場が12月末にありました。

皆さんへのお願い

まずは、事業所独自に利用者の個性や人権を尊重しながら、個別な対策を立てて行かなければならないようです。病院で昼夜を分かたずに対応をしている医療従事者や、その家族の負担が多くなり、離職者も増えているとも聞きますが、医療崩壊ならぬ、福祉崩壊とならないように、職員一同で協力して取り組む必要があります。皆様には諸般の事情をご理解いただき、感染予防と拡大防止について、出来る限りのご協力を頂ければ幸いです。

法人の今後の展望

なごみ福祉会が創立40周年の節目にあたり、大きな災害があっても、社会福祉法人としての役割を果たし続けて行くために、各部門の組織体制を見直す方針が出されています。本年一年、職員一同で努力して参りますので、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ致します。



▲梶山事業部部長

2021 謹賀新年

謹んで新年の
お慶びを申し上げます

各管理者より
新年のご挨拶と抱負

なごみ福祉会
生活ホーム



管理者
川端

コロナ禍の中で無事に新しい年を迎え、生活ができていることの有難みを感じております。予想外な事態に計画していたことが上手く出来なくなったことも沢山ありましたが、多くのことを学び経験する一年となりました。まだまだ普通の穏やかな生活を取り戻すまでには時間が掛かるかもしれません。利用者の皆さんと手を取り合い「共に生き・育つ・学ぶ」成長する一年になればと願っております。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

なごみ福祉会
生活ホーム



副管理者
黒澤

明けましておめでとうございます。今年もよろしく願い致します。昨年はコロナの影響で外出の数も減り、皆さんの楽しみが減った一年でした。今年はこのような状況の中でも工夫を凝らして、利用者の皆様はもちろん、私たち職員も一緒に楽しめる活動を提供出来たらと考えております。私自身はご利用者さん達の障害特性の理解に努めながらも皆さんの個性に寄り添い、職員さん達も生き生き働ける職場環境を作って行きたいです。

相談支援センター
ドリーム



副管理者
穴澤

明けましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。新型コロナウイルスの影響もあり、多くの方々に支えられながら、サービスの継続ができました。今年もこの状況は続き、新しい生活スタイルに移行していくのかもしれませんが、それでも利用者様が安心して充実した生活を送れるように、努めさせていただきます。皆様にとりまして、ご多幸な1年でありますよう祈念させて頂き、年頭のご挨拶とさせていただきます。

ヘルパーステーション夢花
ドリーム



夢花事業部
副事業部長
管理者 釜山

明けましておめでとうございます。昨年はどこも大変な状況であったように、ヘルパーステーションも例外ではありませんでした。閉める判断をするヘルパー事業所もある中で、できる限りのサービスを提供してきました。今年も「コロナ禍」の中で、どこまで余暇活動としての外出が妥当なのか模索し、提供できればと考えています。新しい年が更に良い年になるよう祈念致しまして、新年の挨拶とさせていただきます。

夢花工房
ぼばい



副施設長
長島

新年明けましておめでとうございます。皆様のおかげで無事に新しい年を迎える事ができ、感謝申し上げます。昨年は未知のウイルスに日常生活が脅かされる年となってしまいました。本年も新しい生活様式を取り入れながら、人同士の心の距離は遠ざからないよう気遣っていきたく思っております。当たり前の毎日に感謝しながら、職員一同精進して参りますので、どうぞよろしくお祈りいたします。

ドリーム



副管理者
和田

明けましておめでとうございます。昨年のドリームは児童発達支援が日中一時支援に変わり、ドリームとドリーム2が統合し、変化の年となりました。そして未だ先の見えないコロナ禍の中、ご家族様には人数制限、時間調整等のご理解、ご協力に感謝しております。今後も安心して過ごせる場所となるよう、より良い支援を目指し、パワー溢れる子供達と共に成長していきたいと思っております。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

事務局



事務局長
岩本

新年おめでとうございます。昨年は、季節の移り変わりを感じる余裕も無く、あっという間に時間が過ぎ去ってしまいました。また同時に「日常」のありがたさを痛感した1年でもあったように思います。そのようなルーティンを崩されることに、私たち以上に苦痛を感じているであろう、利用者様に寄り添うことができる夢花事業部でありたいし、そのような業務に従事して下さっている職員の皆様を、精一杯支えて行きたいと思っております。

